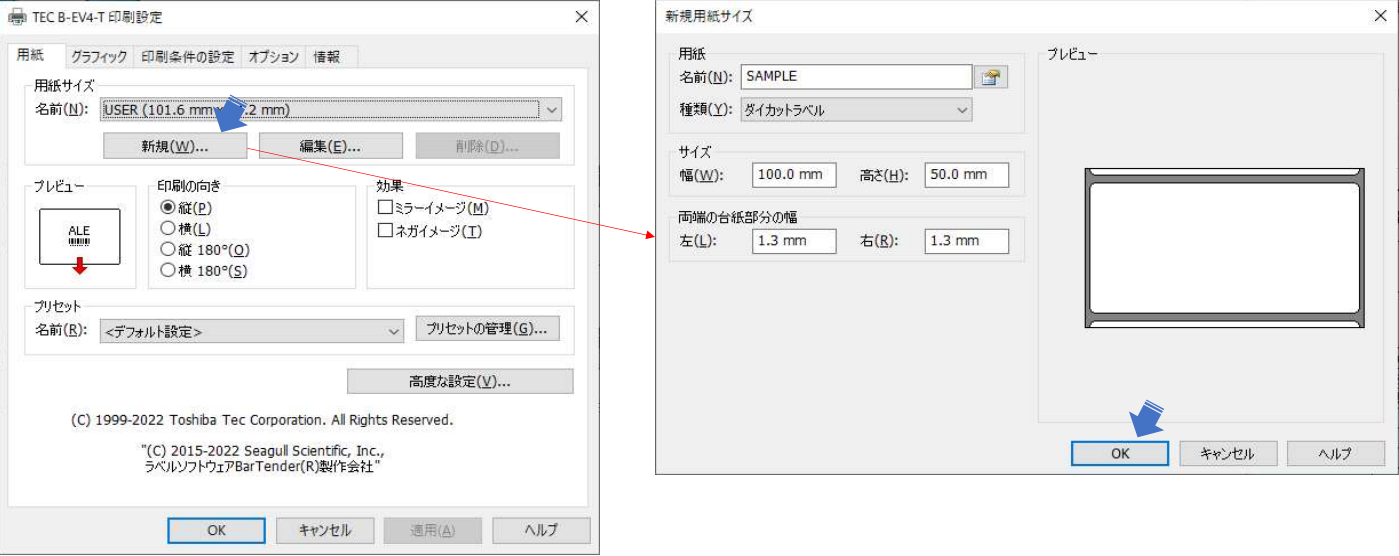


プリセット登録と用紙サイズとの関連付け

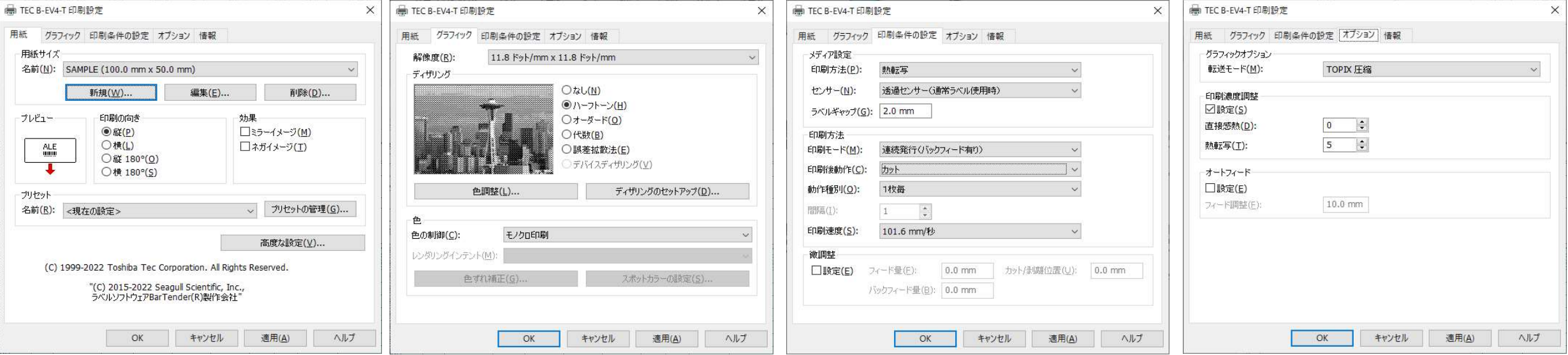
1. プリセットを関連付ける用紙サイズを登録する。

[新規]ボタンをクリックする。



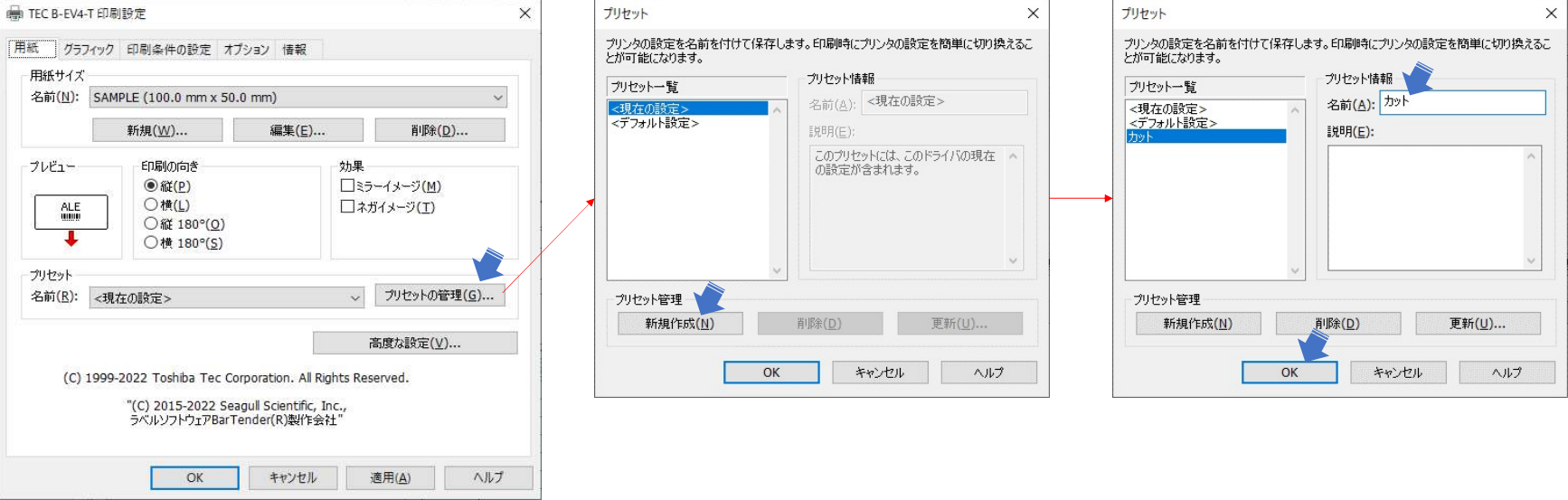
2. プリセットで登録したい印字条件を設定する。

[用紙]タブ、[グラフィック]タブ、[印刷条件の設定]タブ、[オプション]タブでプリセット登録する項目を設定する。



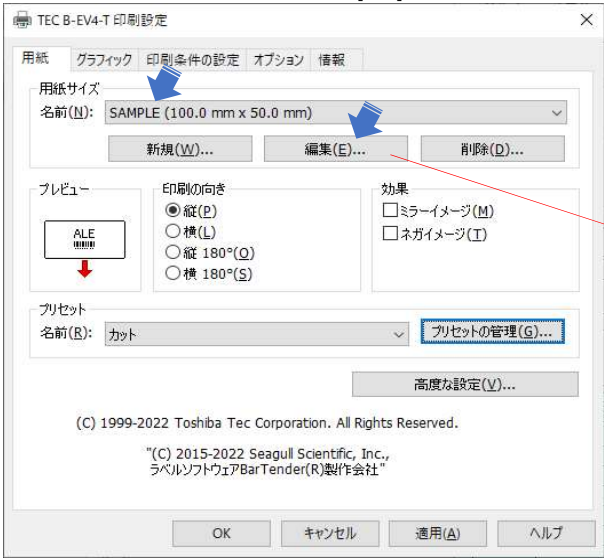
3. 上記2で設定した印字条件をプリセットとして登録する。

[プリセット管理]ボタンをクリックする。

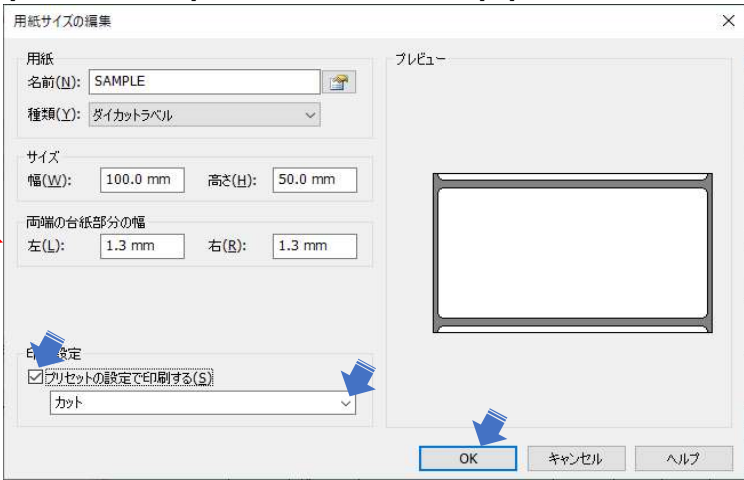


4. 上記 1 で登録した用紙サイズに、上記 3 で登録したプリセットを関連付ける。

関連付けする用紙サイズが選択されていることを確認し[編集]ボタンをクリックする。

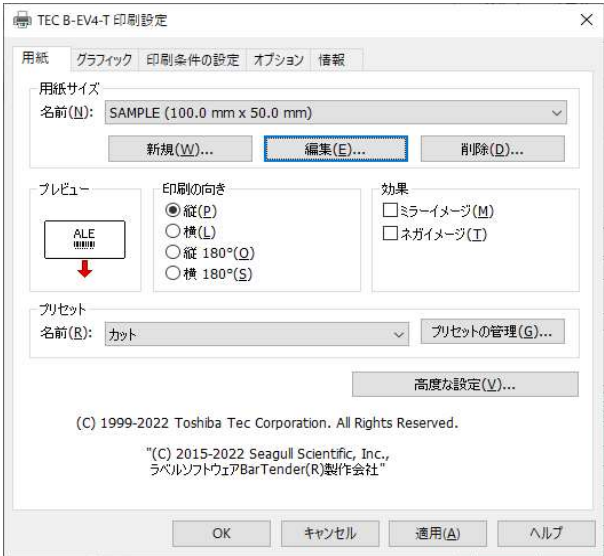


[プリセットの設定で印刷する]をチェックして関連付けするプリセットを選択し[OK]ボタンをクリックする。



5. 登録した用紙サイズにプリセットの関連付けが完了。

アプリから関連付けした用紙サイズを指定して印字すると、その用紙に関連付けされたプリセット（印字条件）で印字される。



<補足>_ (プリンタドライバ操作マニュアル抜粋)

■ プリセット

□ プリセットの設定で印刷する(S)

用紙毎に異なる設定情報を付加するか否かを設定します。

但し、本設定はプリセットを追加していない場合、表示されません。表示されていない場合はチェックしないのと同じ動作になります。

チェックしない場合、用紙に関係なく設定された印刷設定の設定値で印刷されます。

チェックした場合、用紙毎に設定された印刷設定の設定値で印刷されます。

<手順>

- ① プリセット管理の機能で印刷設定のセンサーや微調整等の設定情報をプリセットとして作成します。
- ② チェックして、コンボボックスに作成したプリセットを指定します。
- ③ プリセットが指定された用紙で印刷した場合、プリセットに保存された設定情報が読み込まれ、印刷に反映されます。

注意：本設定を使用する場合、切替えながら使用する他の用紙にも設定を行ってください。

プリセットはプリンタドライバ毎に作成する必要があり、用紙はプリンタドライバで共通で作成されます。そのため、異なるプリンタドライバで同じ用紙に別のプリセットを付加することがないようご注意ください。プリンタドライバ毎に用紙とプリセットを作成して設定をしてください。固定の用紙で設定した場合、インポート／エクスポートの機能で引き継がれません。エクスポートした後に再設定してください。

■ プリセット管理

□ 新規作成(N)

〔用紙〕タブ、〔印刷条件の設定〕タブなどの設定を変更し、新規のプリセット名に設定情報を保存する場合、〔新規作成〕をクリックし、“名前(A)”および“説明(E)”を指定します。印刷設定の各タブの設定情報をプリセットとして管理できます。“説明(E)”は管理するために設定情報に関する内容を入力してください。〔OK〕を押すと設定が保存されます。

保存する設定情報

➤ 〔用紙〕タブ

- ・ 用紙サイズ
- ・ 印刷の向き（印刷時は、アプリケーションから設定する「用紙の向き」の方が優先されます。）
- ・ 効果
- ・ 高度な設定（ユーザーコマンドタブのみ）

➤ 〔グラフィック〕タブ

- ・ ディザリング

➤ 〔印刷条件の設定〕タブ

- ・ メディア設定
- ・ 印刷方法
- ・ 微調整

➤ 〔オプション〕タブ

- ・ グラフィックオプション
- ・ 印字速度設定
- ・ 印刷濃度調整
- ・ オートフィード
- ・ 複写印刷エリア設定
- ・ リボン設定

□ 削除(D)

削除するプリセットを選択し、〔削除〕をクリックします。〔OK〕を押すと設定が保存されます。

□ 更新(U)

〔用紙〕タブ、〔印刷条件の設定〕タブなどの設定を変更し、既存のプリセット名にその変更を反映させる場合、プリセット一覧から該当するプリセット名を選択し、〔更新〕をクリックします。〔OK〕を押すと設定が保存されます。